

## 令和5年度 第1回 堺市バリアフリー化検討委員会 議事要旨

開催日時	令和5年7月13日（木）午前10時～12時
開催場所	堺市総合福祉会館5階 大研修室（オンライン併用）
案 件	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 改定版堺市バリアフリー基本構想（「全市域版」、「堺駅・堺東駅周辺地区版」）の策定について（ご報告）</li> <li>2. 堺市交通バリアフリー基本構想における「南海高野線中百舌鳥駅・地下鉄なかもず駅周辺地区」の整備状況について</li> <li>3. 「南海高野線中百舌鳥駅・地下鉄なかもず駅周辺地区」の改定に係る骨子（案）、見直し後の重点整備地区（案）について</li> <li>4. 踏切道の視覚障害者誘導対策について（案）</li> <li>5. その他</li> </ol>
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次第</li> <li>・資料1-1 堺市バリアフリー基本構想【市全域・概要版】</li> <li>・資料1-2 堺市バリアフリー基本構想（改定版）【全市域版】</li> <li>・資料1-3 堺市バリアフリー基本構想 【堺駅・堺東駅周辺版・概要版】</li> <li>・資料1-4 堺市バリアフリー基本構想（改定版）【堺駅・堺東駅周辺地区版】</li> <li>・資料2 堺市交通バリアフリー基本構想（南海高野線中百舌鳥駅・地下鉄なかもず駅周辺地区）で位置付けた事業の進捗状況について</li> <li>・資料3-1 堺市バリアフリー基本構想（南海高野線中百舌鳥駅・地下鉄なかもず駅周辺地区版）の改定に係る骨子案</li> <li>・資料3-2 南海中百舌鳥駅・地下鉄なかもず駅周辺地区における重点整備地区及び生活関連施設、生活関連経路について（案）</li> <li>・資料4 踏切道の視覚障害者誘導対策</li> <li>・資料5 SMI 都心ライン実証実験</li> </ul>

## 議事要旨

### (1) 開会

挨拶（健康福祉局長）

挨拶（委員長）

### (2) 案件

#### 1. 改定版堺市バリアフリー基本構想（「全市域版」、「堺駅・堺東駅周辺地区版」）の策定について（ご報告）

事務局から資料1-1～1-4について説明

#### 2. 堺市交通バリアフリー基本構想における「南海高野線中百舌鳥駅・地下鉄なかもず駅周辺地区」の整備状況について

事務局から資料2について説明

○委員からの意見、質疑等

##### ●委員長

男女共用トイレや、トイレの機能分散、知的・精神・発達障害の方のためのカームダウン・クールダウン施設などの新しい課題についてもこの検討委員会で議論していきたい。

#### 3. 「南海高野線中百舌鳥駅・地下鉄なかもず駅周辺地区」の改定に係る骨子（案）、見直し後の重点整備地区（案）について

事務局から資料3-1、3-2について説明

○委員からの意見、質疑等

##### ●土屋委員

世界遺産に指定された古墳群がある百舌鳥駅周辺地区は重点整備地区にならないのか。

##### ●事務局

市移動等円滑化促進方針においても百舌鳥駅を候補地に挙げており、課題として認識している。

##### ●土屋委員

世界遺産になった旬の時期を逃さず、早い段階で考えて頂きたい。また、新しい道路の整備だけでなく、既存の道路の白線等の維持管理もお願いしたい。

●事務局

維持管理については、委員となっている関係者を含め意識して取り組んでいる。具体的な箇所についてご指摘いただいた際には対応を行っており、今後も意識的に取組を進めていく。

●岩本委員

中百舌鳥駅の計画について、当事者の駐車スペースの整備、ロータリーで車いすが乗降することができるように検討してほしい。

●事務局

所管する部署を確認し、どういったことができるのか検討する。

●委員長

我が国の歩道は昔、段付き歩道といって15cmくらいあったものを5cmに全国的に下げた。その結果バスの乗降口との段差が大きくなるような逆転現象や、駅前駐車場で、十分なスペースが確保されておらず、車いすが後ろから出入りする車が使えないというケースなどがあり、きめの細かい対応が駅前広場の設計者に望まれる。

#### 4. 踏切道の視覚障害者誘導対策について（案）

事務局から資料4について説明

○委員からの意見、質疑等

●土屋委員

当事者としては、踏切特有の事情であるが、鐘が鳴ると非常に焦り、踏切の中と外の区別がつかないことがあるので、非常に評価のできる素晴らしい設計だと思う。ここに一つ追加でお願いしたいことは、誘導ブロックの横につたえるような棒状のものを敷いてほしい。例えば駅のホームの線状ブロックのような線を、誘導ブロックの横に敷いていただくことによって、自分が進む方向を見失った場合でも線路を脱出できる。

●事務局

委員ご発言の、「表面に凹凸のついた誘導表示」、いわゆるエスコートゾーンの横に1本の線状の誘導表示シートを設置する事例について、他自治体等で施工されていることは把握している。ただ、通常は駅のホームに設置するものを、電車の通る踏切の中につけることから、安全性が担保されるかを確認する必要があるため、今後、国の指針で1本の線状の誘導表示シートの設置が明確化された際には関係者等との協議を行い、整備

を進めたい。

●岸本委員

踏切道の手前に歩道のある踏切は 11 ヶ所ということだが、堺市内に 11 ヶ所しかないのか、それ以外にもあるのか。また、歩道が設置されていない踏切について、国の動向を見てからではなく堺市独自で考えることは可能か。11 ヶ所の整備はいつごろ完了するのか。

●事務局

踏切は堺市内に 72 ヶ所あり、踏切の前後に歩道等が設置されている踏切は 11 ヶ所。次に、踏切道の手前に歩道等が設置されていない踏切については、国の基準に先立って整備が考えられるかということについて、今後の国の動向を注視し、その検討結果を踏まえ関係機関との協議を進めたいと考える。整備の完了予定について、この 11 ヶ所に関しては、令和 6 年度末までに整備完了を目標として設計や協議等を進めている。

●岸本委員

国の動向を注視するということだが、堺市は政令市なので権限はあると思う。協議は可能だと思うので、関係者との協議を進めてもらいたい。

●事務局

車道上に人を一旦停止させる必要があるため、安全性の観点から、今後の国の動向を踏まえて検討していきたい。

## 5. その他

事務局から資料 5 について説明

○委員からの意見、質疑等

●西尾委員

正着実験にて 1 番大きいところで 40 センチの誤差が出たと聞いている。この誤差について、今後調整し正確に留まるようになるのか。

●事務局

昨年度使用した自動運転のシステムは、GPS の衛星情報で、車両の位置を特定し、どこまで停留所にのせられるかという技術を活用していたが、それでは幅寄せに限界があることがわかっている。自動運転の技術は他にもあり、例えば地下に磁気を発するようなものを埋め、それを車両で読み取ることで、同じルートを走るといった技術もある。その技術を活用すると、数センチ単位の誤差で走行できるという話も聞いている。そういった方法を検討していきたい。

●委員長

個人的な意見として、正着の完全化と同時に世界的潮流であるスロープの自動化をすれば解決するのではないか。また、多くの市で自動運転の実験を実施しているが、他市でバリアフリーを前提にしたチェックはほとんど聞いたことがない。バリアフリー実験を自動運転に合わせて実施したことに敬意を表したい。

●岩本委員

堺駅堺東駅の重点整備地区について、灯台のあるところが観光ポイントになっているのでエリアに加えてほしいと要望したが、含まれていない。

●事務局

生活関連施設をベースに、それを囲む形で重点整備地区を設定しており、灯台については海にあるため、灯台を含めた重点整備地区の設定は難しい。ただ委員ご指摘の通り、観光資源としては大変重要なものと認識をしており、バリアフリー化の必要性は理解している。

●岩本委員

連絡通路のような形で歩道があるが、それがすごく不便な構造になっており、その点が問題。

●事務局

現地確認により、管理者を確認するところから始める。

●土屋委員

次回の委員会開催は10月と先ほど発言があったが、8月3日に開催される泉ヶ丘公園のバリアフリー化推進協議とこちらの委員会の関係について聞きたい。

●事務局

以前検討いただいた促進方針における当事者参加の仕組みとして、推進協議の要綱を策定した。この要綱に基づいて実施するのが委員お示しの協議である。協議の内容については次回以降ご報告する。

●土屋委員

高齢者についても当事者に含まれているのか。

●事務局

含まれる。

●岩本委員

資料2のp16、筆談記・指差しのツールの設置について実施時期が不明とはどういうことか。堺東駅のバリアフリーチェックの際に、カウンターに筆談器具がなく、紙でやり取りをした。筆談器具の準備をお願いしたい。

●南海電鉄 西谷委員

従来から実施しているが、開始時期が確認できなかったということ。堺東駅については常時駅員もおり、環境的には筆談器具は必ずあると思うが、事実確認が必要。

●杉本委員

視覚障害の方に必要なのは理解できるが、高齢者や足の不自由な方は段差や少しの溝でもつまずき、転ぶ可能性が高い。このこともふまえて工事を実施してほしい。

●中川委員

今回初めて検討委員会に参加し、たくさんの気づきを得た。今後も関心を持っていきたい。

●委員長

中川委員には今後、まちあるきの際には老人クラブの代表、また女性の代表ということも意識してご発言いただければありがたい。

●島田委員

手が不自由なので、堺東の陸橋にある足元の操作でエレベーターを呼べる仕組みを堺駅にも導入してほしい。

●矢本委員

皆様方から、市中の商店街に何かご要望があればお聞かせいただきたい。

●委員長

(万博でのバリアフリーの取組について紹介)

(以上)